

## 「ウクライナ避難民支援に関わる実務者向け研修会兼ワークショップ」の開催について

ウクライナ避難民を受け入れている地方公共団体等から、実務者向けの研修を実施して欲しいとの声を受け、このたび、以下のとおり研修を実施しました。

1. 目的： ウクライナ避難民の支援にあたる実務者の能力向上と担当者間のネットワーク形成
2. 対象： ウクライナ避難民の支援を行う都道府県・市区町村の職員、  
国際交流協会の協会、日本財団又は市区町村の推薦を受けた活動NPO など
3. 日程： 8月9日(火)13時～10日(水)15時(1泊2日)
4. 場所： 市町村アカデミー(千葉県美浜区浜田1-1)
5. 参加人数： 32名
6. 主催： 公益財団法人日本財団  
共催： 公益財団法人全国市町村研修財団 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)  
広報協力： 全国市長会、全国町村会

### 7. プログラム

#### 【1日目：8月9日(火)】

- (1) 「日本財団のウクライナ避難民支援とは」 日本財団
- (2) 「避難民モニタリングシステムと収集データから見える、避難民の実態・課題と今後の展望」  
SAPジャパン、日本財団
- (3) モデル事業の紹介  
「多言語支援センターかながわと、各地域が連携した避難民支援」  
かながわ国際交流財団 富本潤子氏、神奈川県国際課 小宮山忠和氏  
「大阪での避難民受入れのこれまでの取り組み」  
大阪国際交流センター 梅元理恵氏  
「あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワークの構築と支援」  
レスキューストックヤード 栗田暢之氏
- (4) 「パネルディスカッション：避難民支援を通して見えてきた課題と今後の展望」  
ファシリテーター： ダイバーシティ研究所 田村太郎氏  
パネリスト： 富本潤子氏、小宮山忠和氏、梅本理恵氏、栗田暢之氏
- (5) 「ネットワーキング」： 田村太郎氏、SAPジャパン  
避難民が地域で安心して生活を送ることができる支援体制とは(各地の事例共有と課題整理)

#### 【2日目：8月10日(水)】

- (1) 支援者研修  
「これからの相談支援体制の形成に向けて」国際活動市民中心 新居みどり氏  
「外国人との共生社会実現に向けたロードマップについて」  
出入国在留管理庁政策課外国人施策推進室補佐官 田中敏之氏
- (2) 対面ワークショップ 「地域におけるアクションプラン、支援モデルを共に考えよう！」  
田村太郎氏、SAPジャパン
- (3) ワークショップのチーム発表